

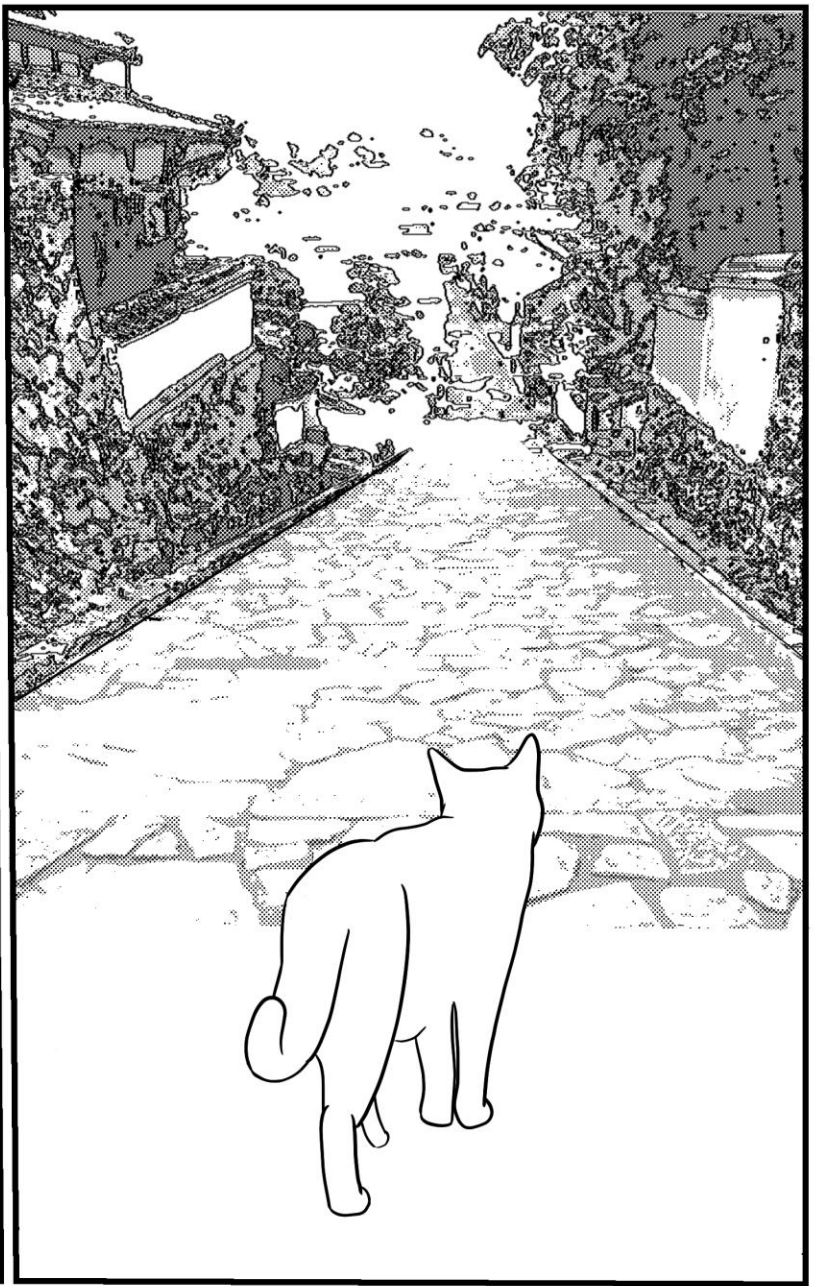
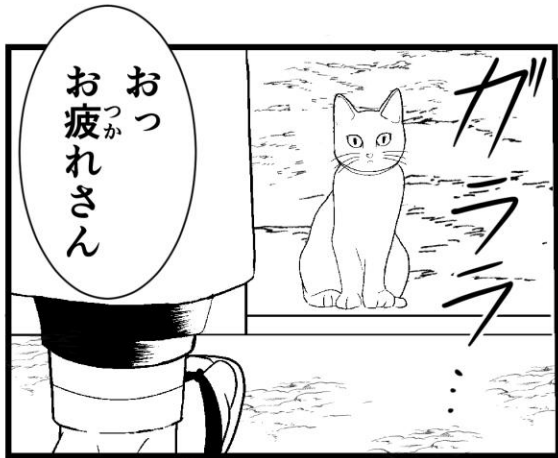
日本にほん古来こらいから
棲すみ続つづけてきた

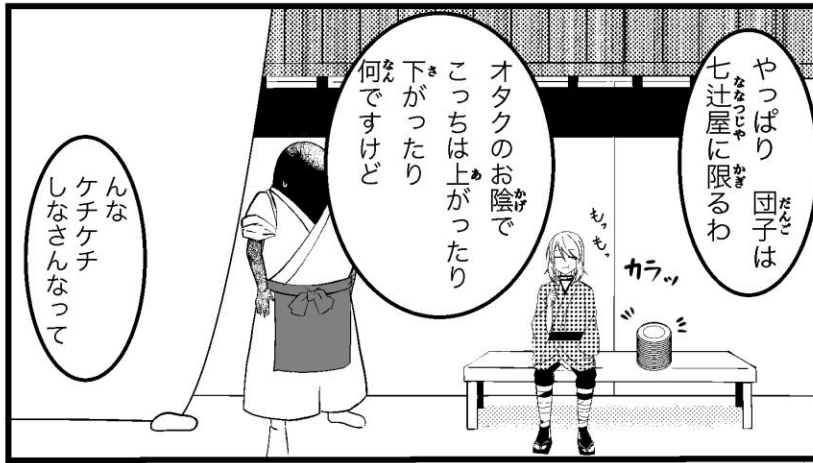
目めには見みえない
異形いぎようの者ものの存在そんざい

ひとびと
人々はその者たちを
魑魅魍魎ちみもうりよう、
或あるいは妖怪ようかいと呼んだ—



あやかし
前線

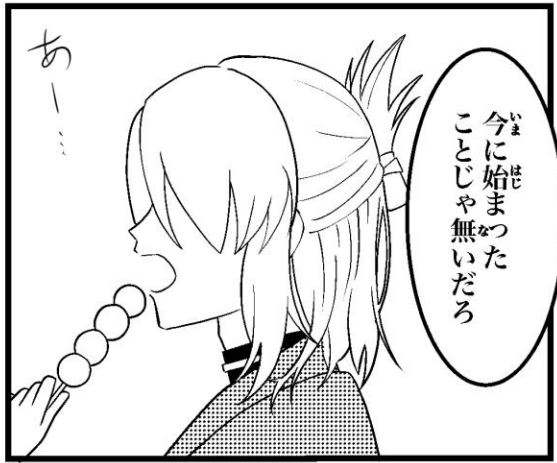




んな
ケチケチ
しなさんなって

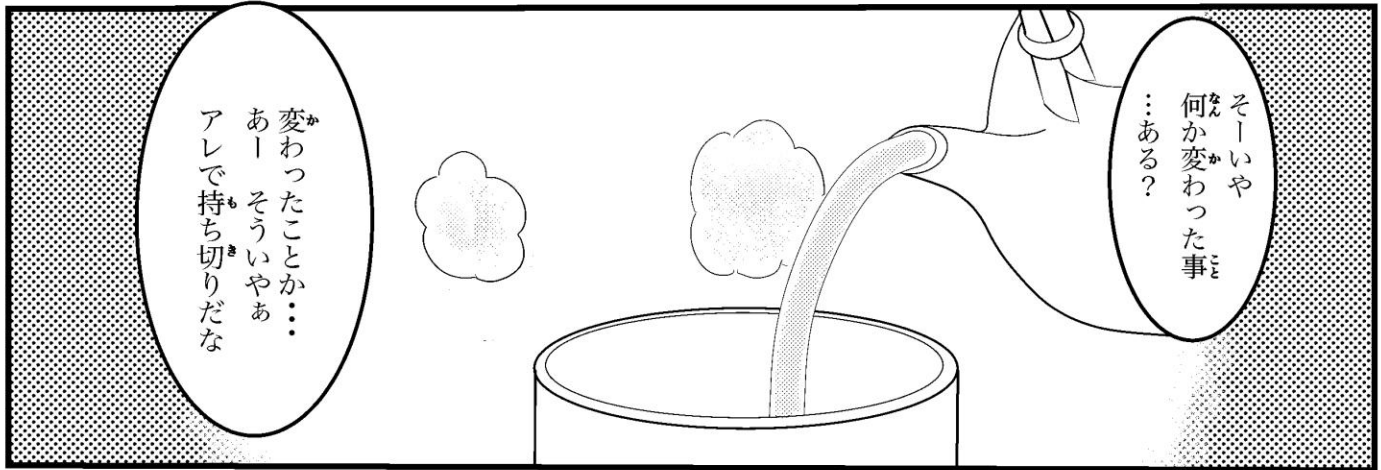
オタクのお陰で
こっちは上がったり
下がったり
何ですけど

やっぱり 団子は
七辻屋に限るわ



今に始まった
ことじゃ無いだろう

あー...



そーいや
何か変わった事
...ある？

変わったことか...
あー そういやあ
アレで持ち切りだな



...その噂
詳しく



アレって
何？

知らねえんですか？
今この噂で
持ちぎりなんですよ



かみかく
神隠し？

紅緒によれば
夜中に子供が
忽然と姿を
消したんだと

それが
毎晩のように
現れるみたいでな



徘徊した後に
必ず小火も
発生してるから

本家も
手が回らないらしく
手が空いてる奴らを
招集してるってさ

ああ
それで



ミンツチが
しかめっ面で
朝餉を食べてた訳ね

こき使われただけじゃ
ないみたいなんだわ

え？



こちらら
徹夜明けで
寝てねえンだよっ

文句があるなら
自分で作って
食べれば？

…って
大将から
言われたってさ

ああ…
(察し)
耳が痛いな…

大将以外
料理が出来ない

雷蔵
傷口に塩を塗るのを
やめてくれませんか？

おっ
唾をすれば

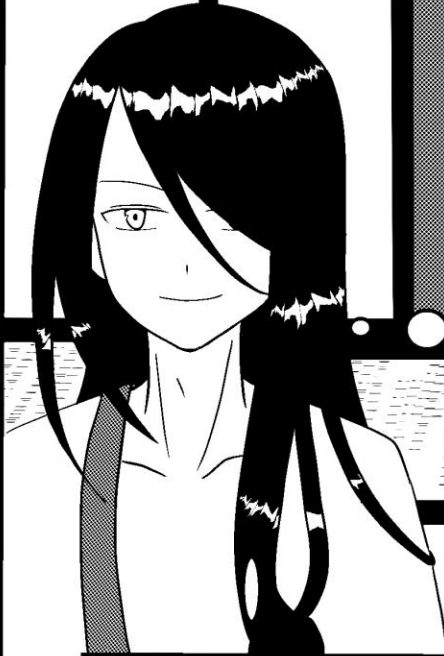


でも料理を
作る側からしたら
「何でもい」は
他人事っぽい態度は
気に入らないし
しかも全面的に
料理担当の大将は
アンタの丸投げ体質に
苛つかせたんじゃないの？
それに私ら
料理からつきし
だし



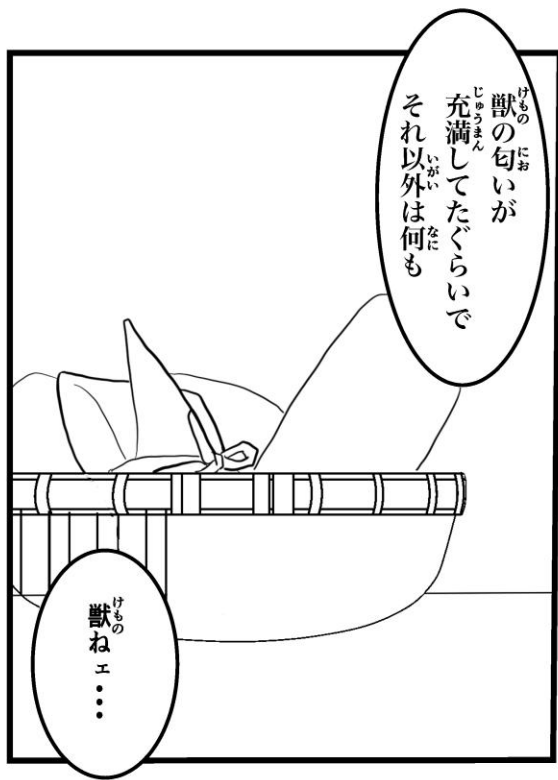
今の一言で
トドメ刺されたな

かわった所
ですか



ところで…
ミンツチ
どうだったか
火災現場の様子は





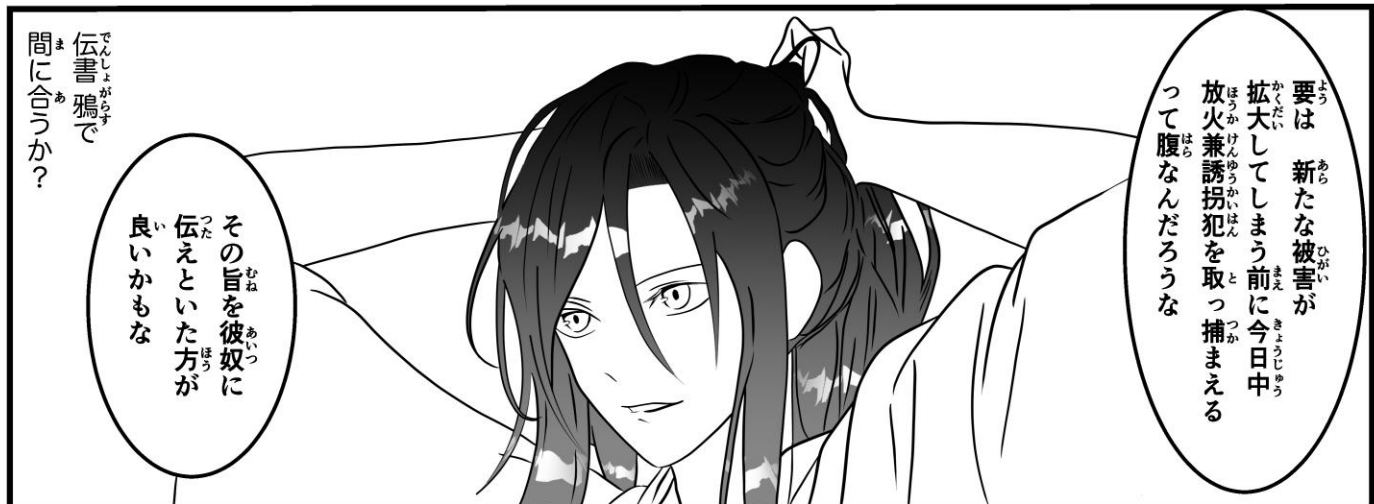
獣の匂いが
充滿してたぐらいで
それ以外は何も

獣ねエ...



僕が着いた時は
既に消火活動は
済まされた後でしたね

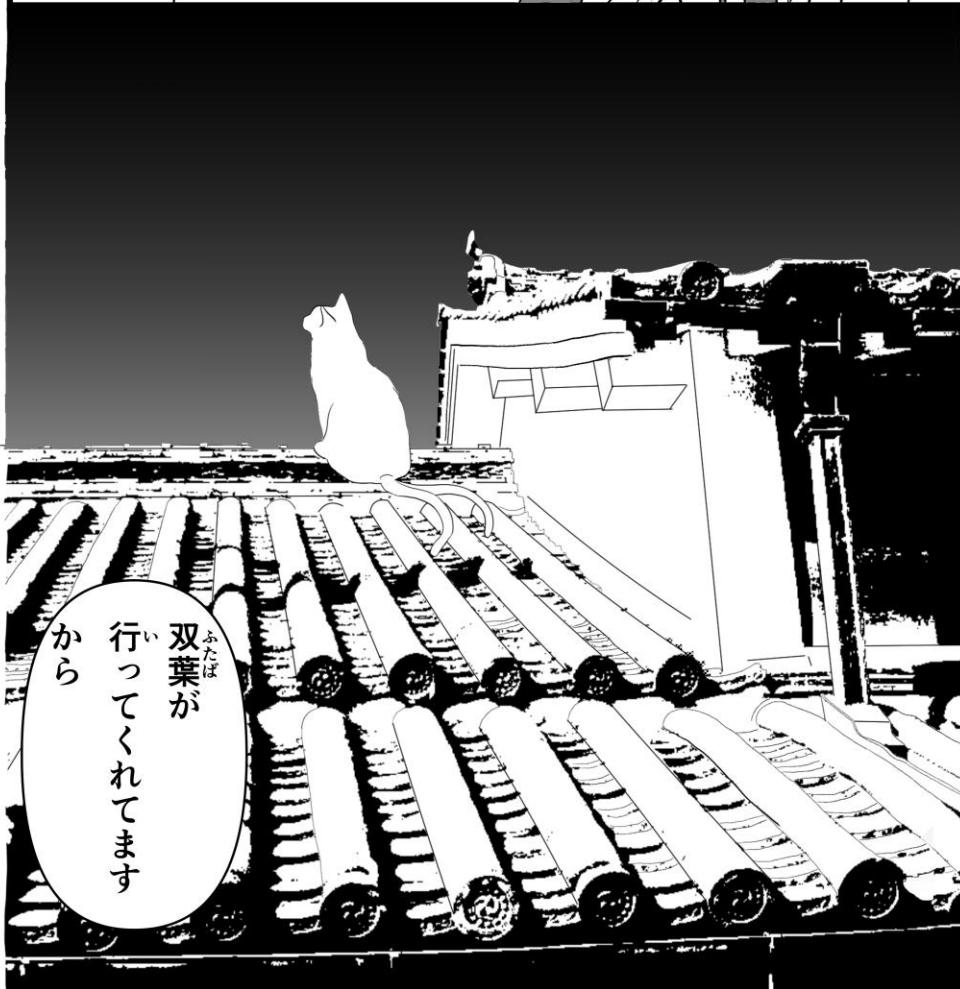
ああでも
焦げ臭い硝煙に
近い匂いと混ざって



要は新たな被害が
拡大してしまう前に今日中
放火兼誘拐犯を取っ捕まえる
って腹なんだろうな

その旨を彼奴に
伝えといた方が
良いかもな

伝書鴉で
間に合うか?



双葉が
行ってくれます
から

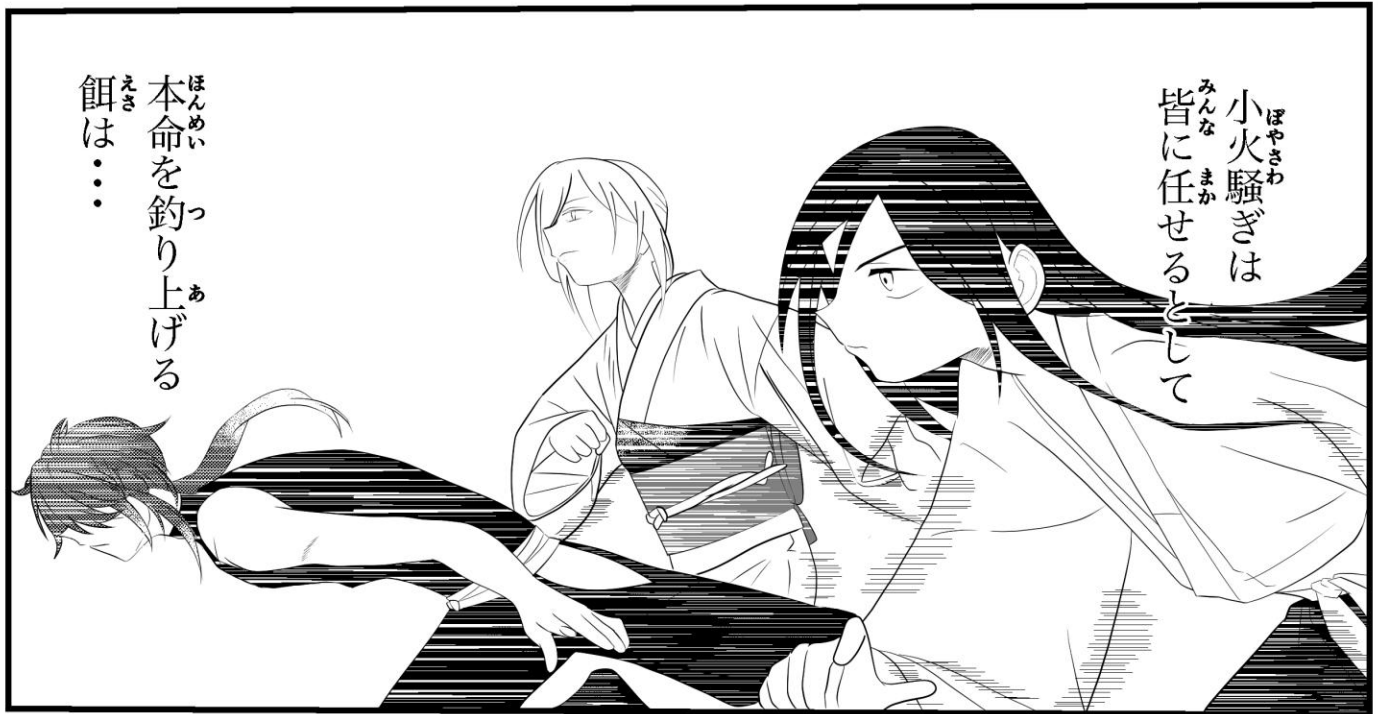


その心配は
無用と思いますよ



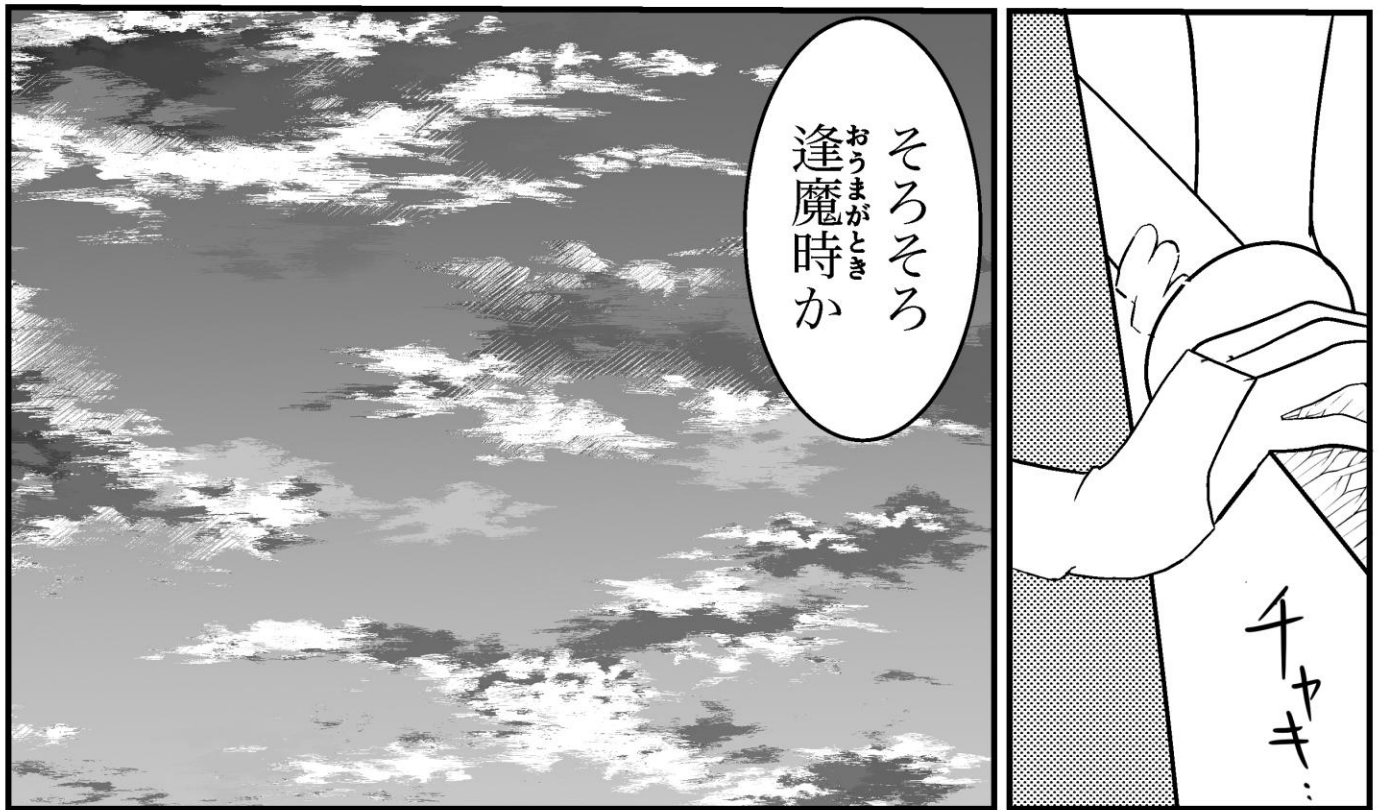
伝書通りなら
相手は必ず今夜
何処かに現れて

小火騒ぎで
周囲が混乱してる
隙に攫う……と
見て良さそうだな



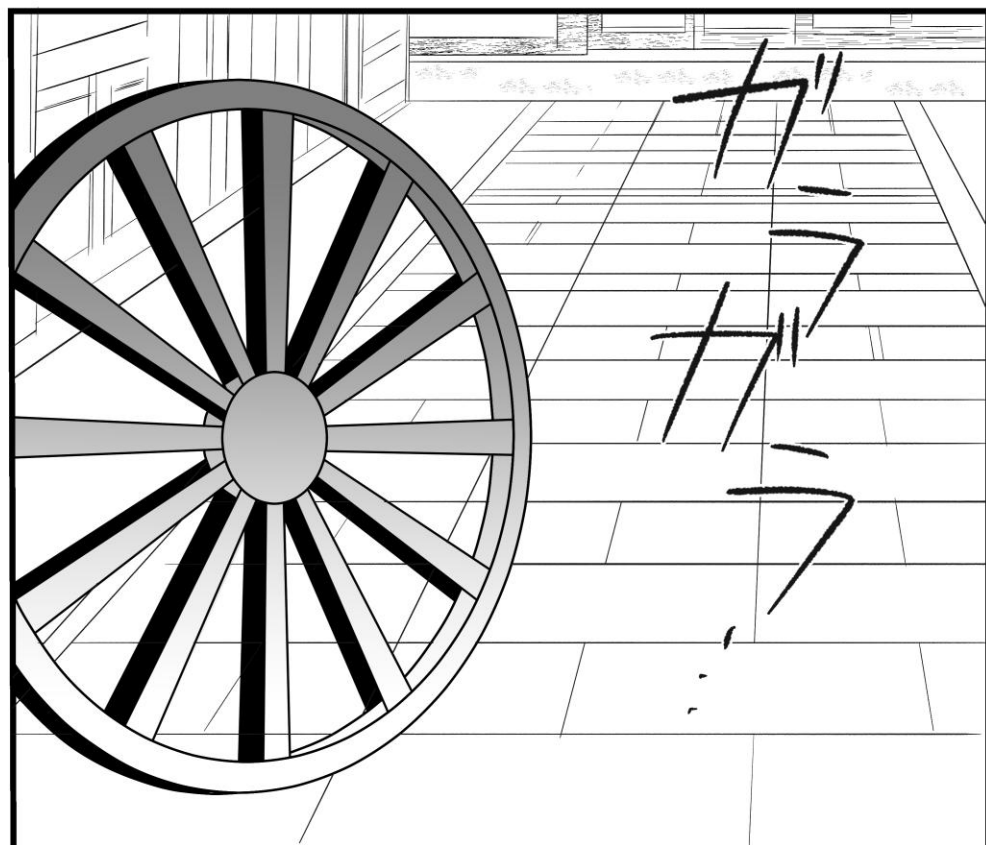
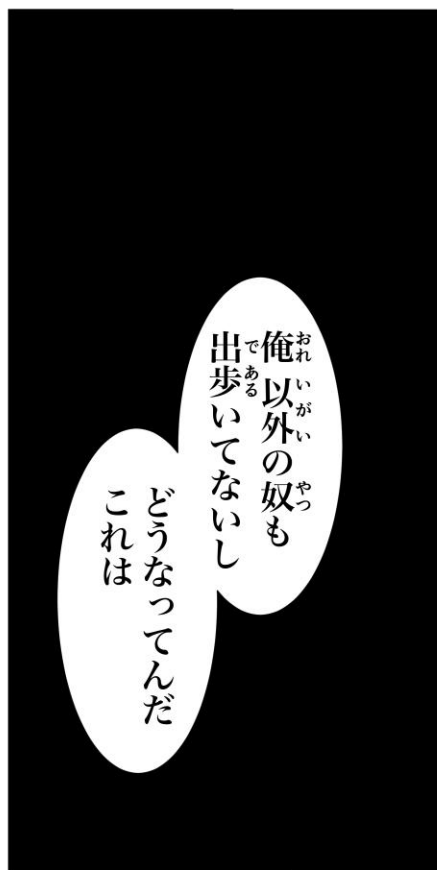
小火騒ぎは
皆に任せるとして

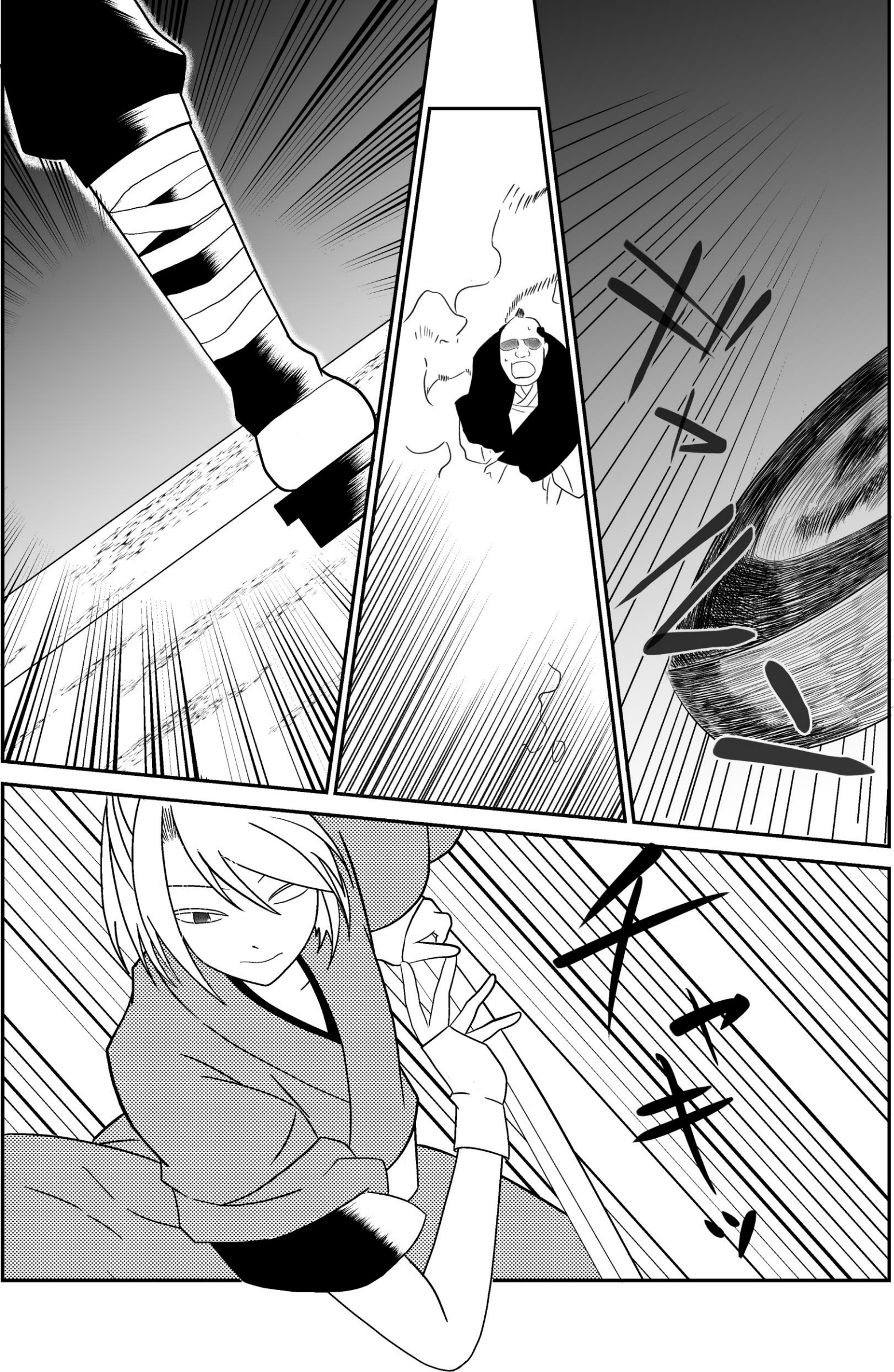
本命を釣り上げる
餌は……

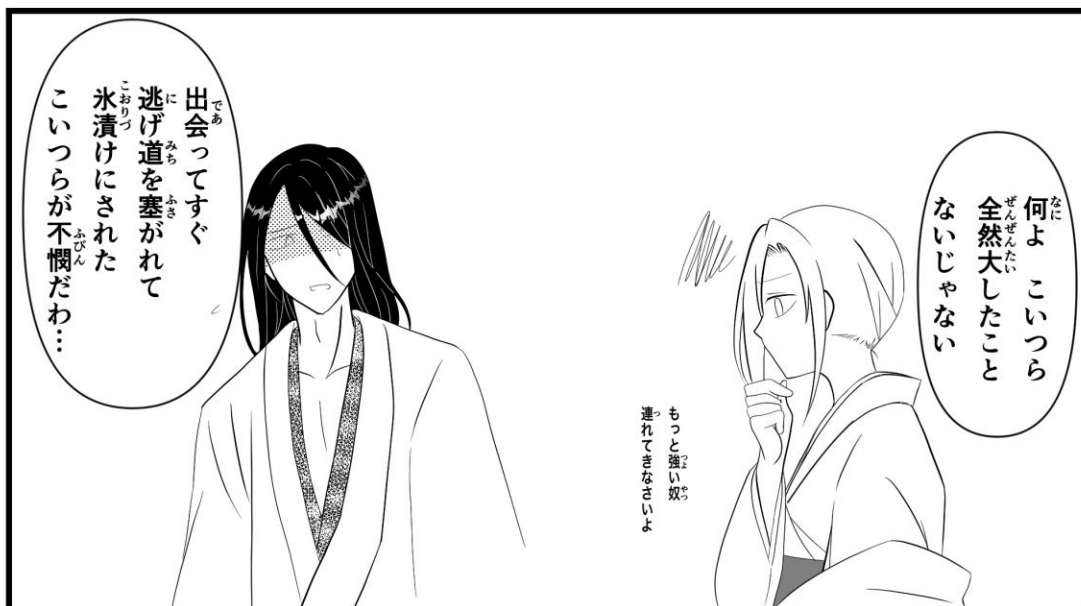


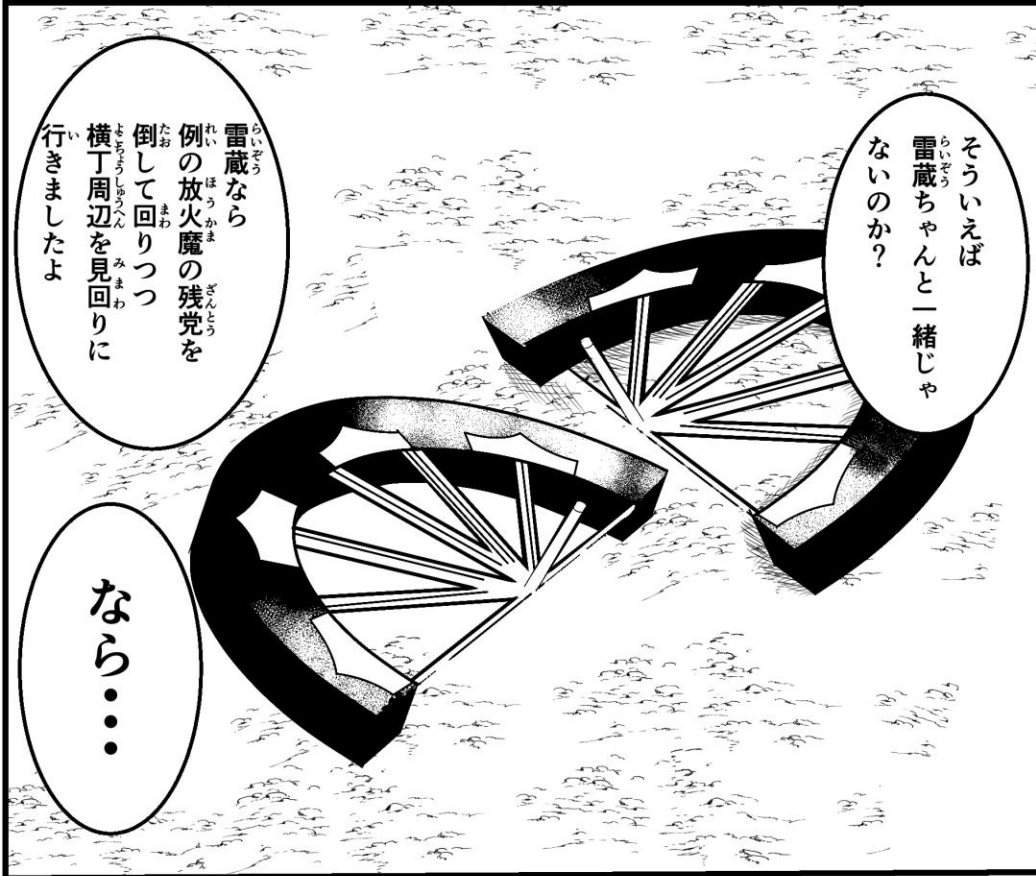
そろそろ
おうまがとき
逢魔時か

千ヤキ









そういえば
雷蔵ちゃんと一緒じゃ
ないのか？

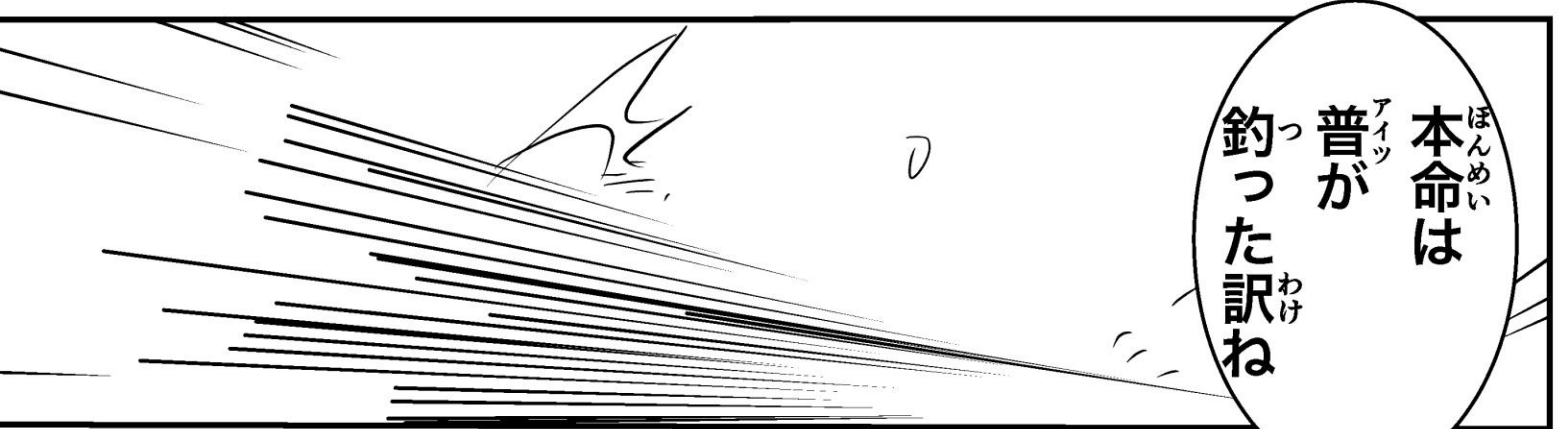
雷蔵なら
例の放火魔の残党を
倒して回りつつ
横丁周辺を見回りに
行きましたよ

なら……

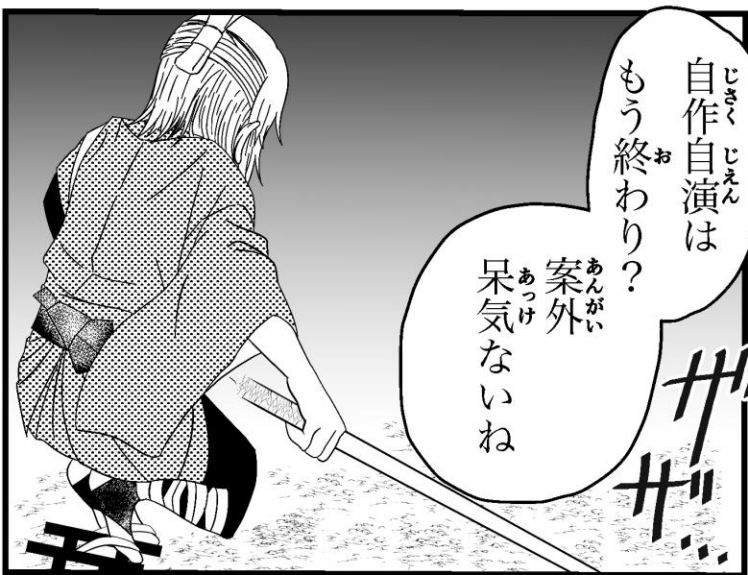


ひとまず
こうにかなりましたね

こつちも
被害が最小限で
済んだわ



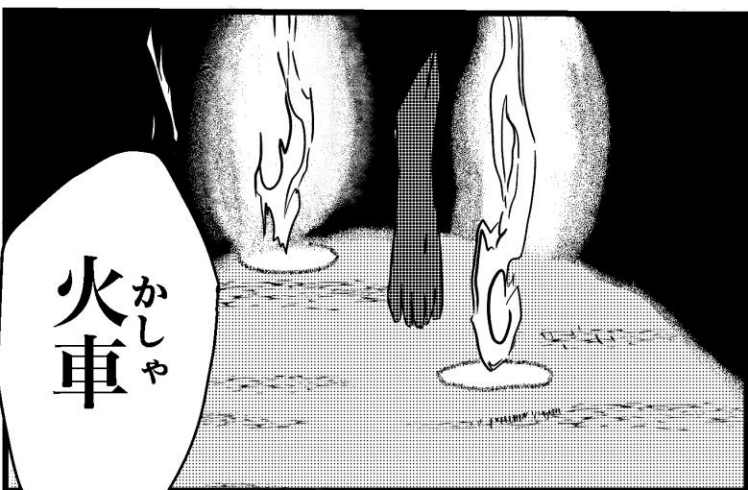
本命は
アイツ
普が
釣った訳ね



自作自演は
もう終わり？
案外
呆気ないね



おつと



かしや
火車



てめ
手前エみたいな
がき
餓鬼が「葵屋」
あおいや
だと...

ずいぶん
随分と
やさおとこ
優男が
き
来たもんだな

其奴は規定違反を犯し
行方をくらました後に

回収される筈の道具を
持ち出されたのが
発覚したらしい

その直後だよ
今回の出来事が
起きたのは

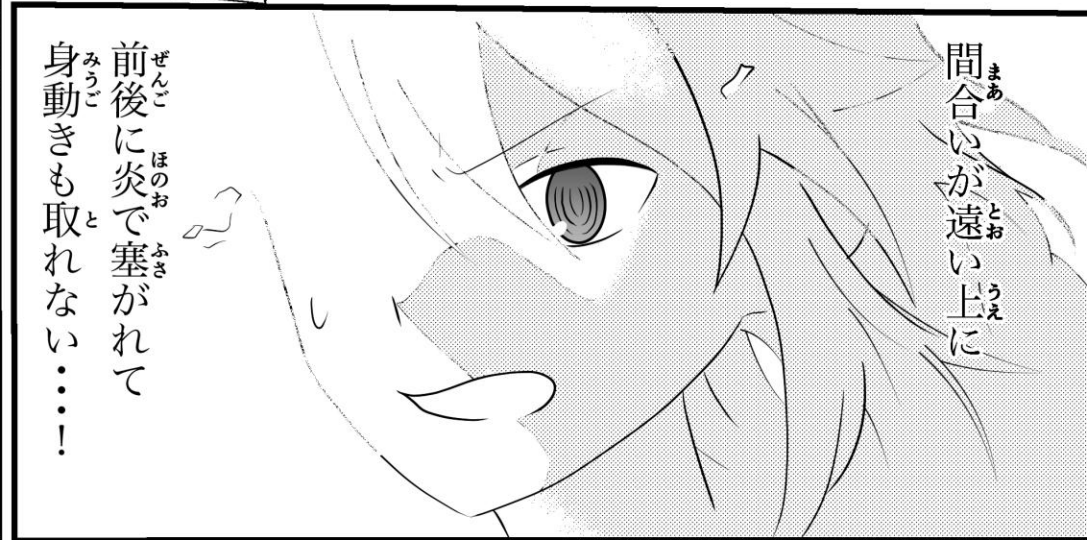
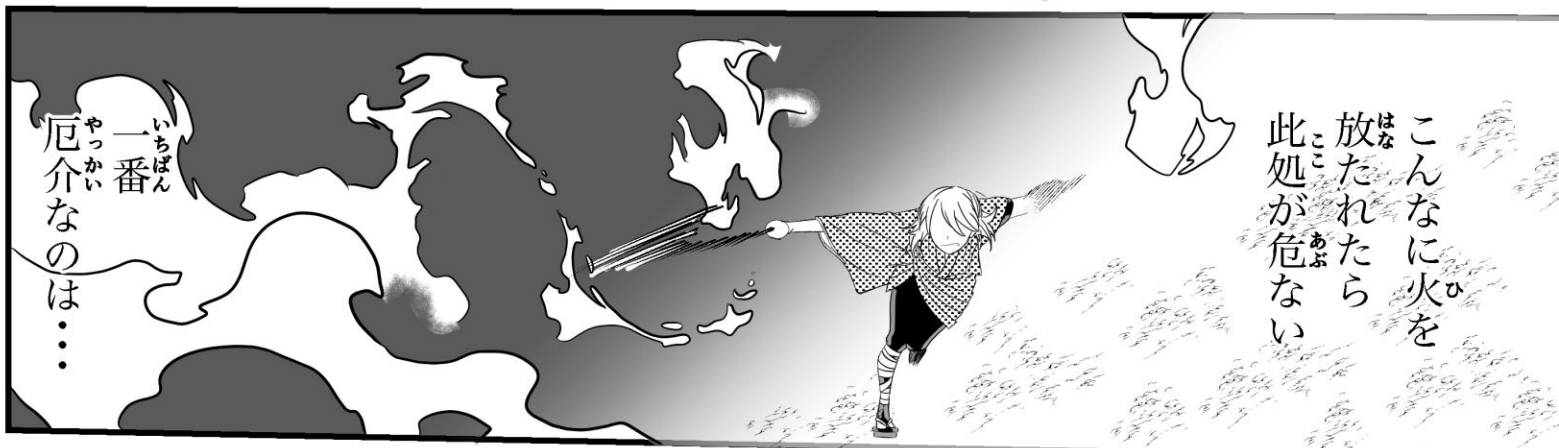
スウ
ミ

主犯はアンタで
間違いないよな？
火車

こんな夜中に
余計に匂うんだよ
此処では

攫った奴等は
…もう送った
後なんだろ

じごく
地獄に

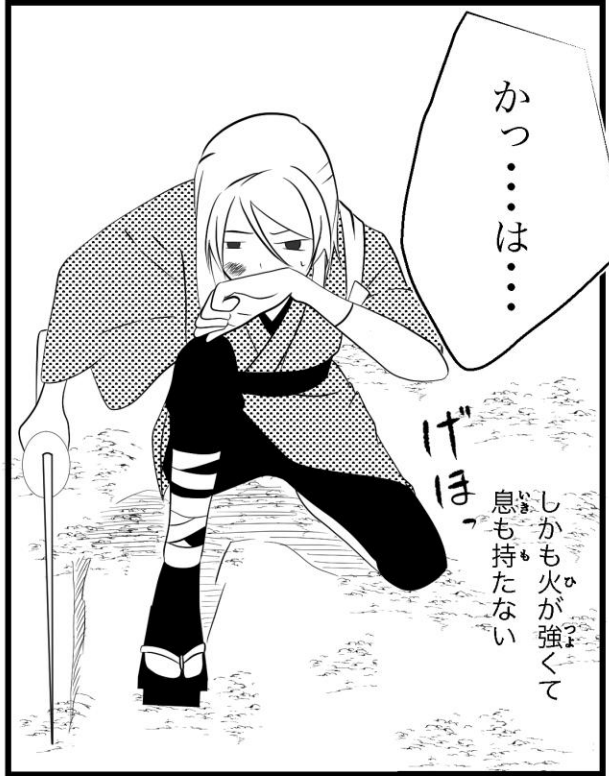




これで
トドメだ



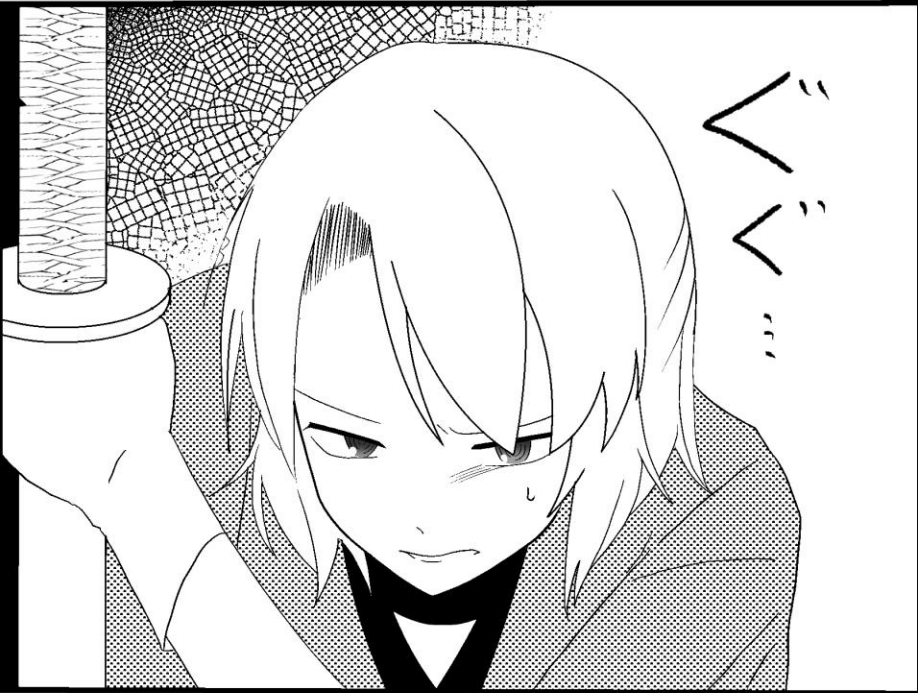
最初の威勢は
どこに消えた？



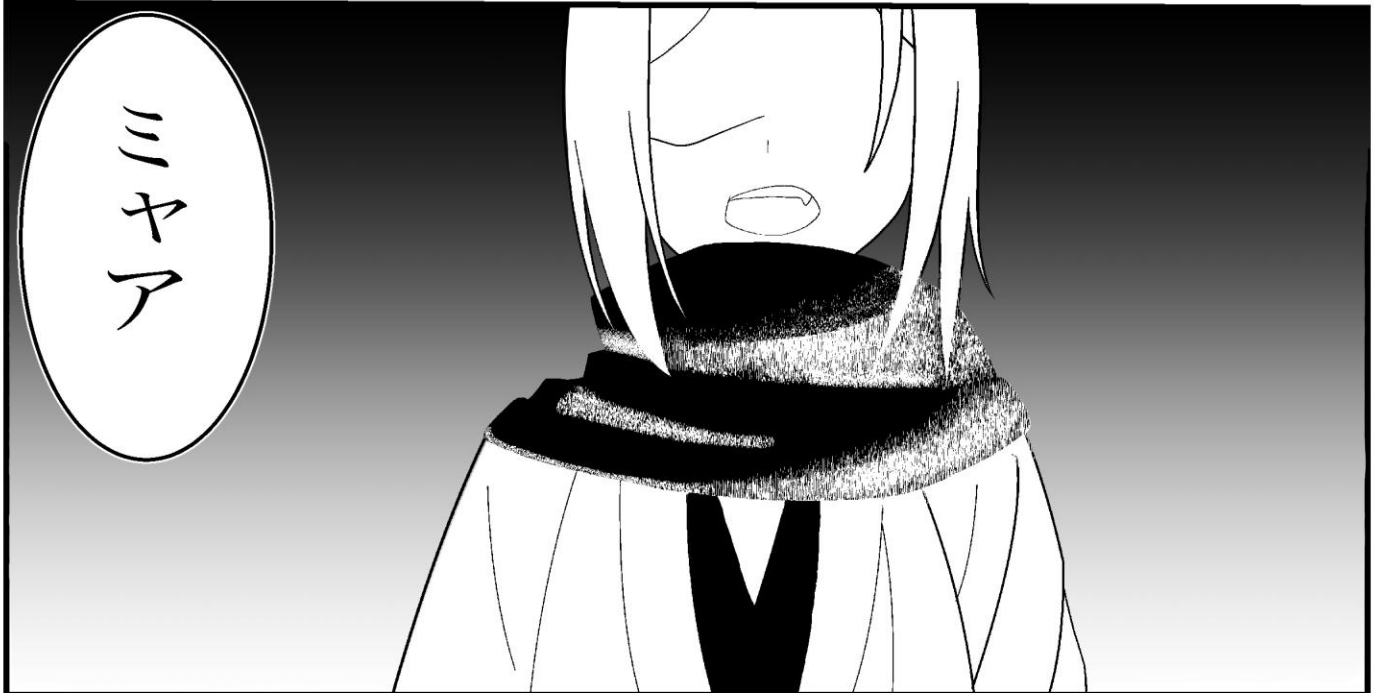
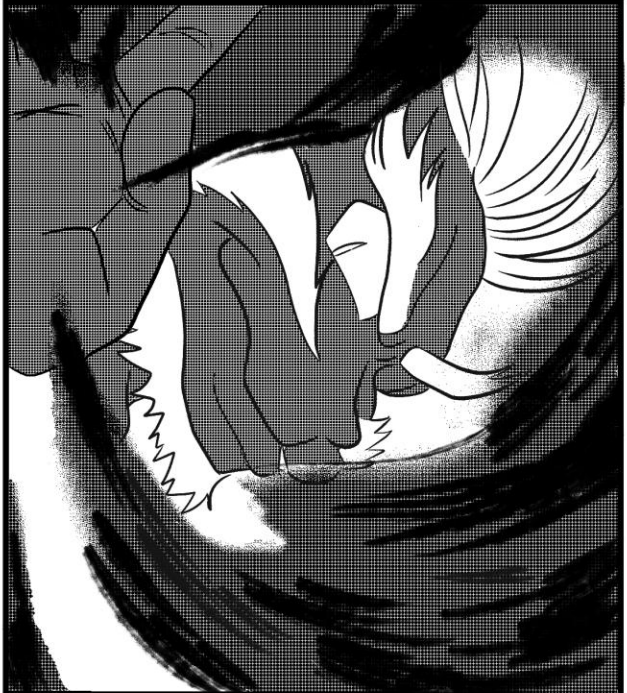
げほ

しかも火が強くて
息も持たない

かつ...は...



〃
〃
〃



ミヤア



なんだ
ひかり
この光は

めくらま
目眩しか!?



ほのお
炎が消えていく
浄化されているのか!?

ここは逃げて
たな
立て直すしか…

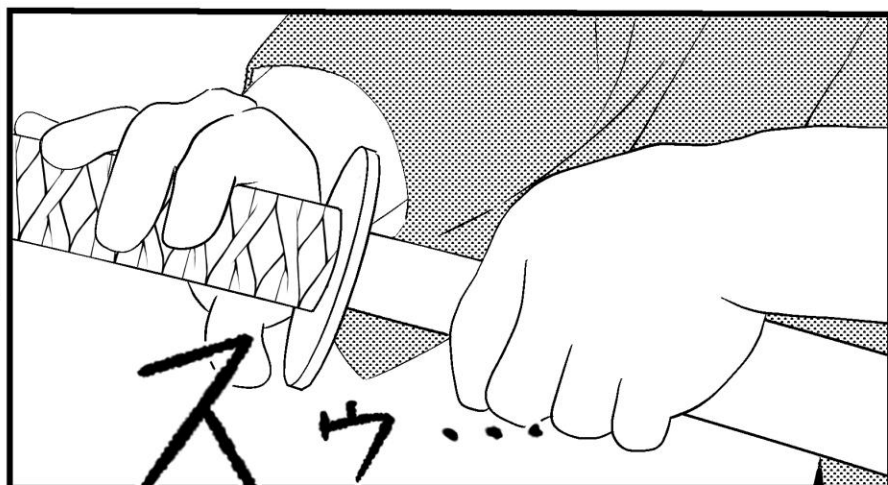
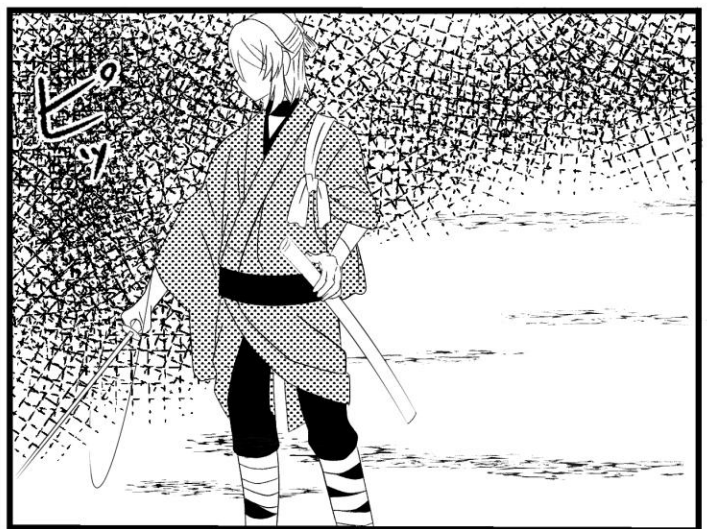


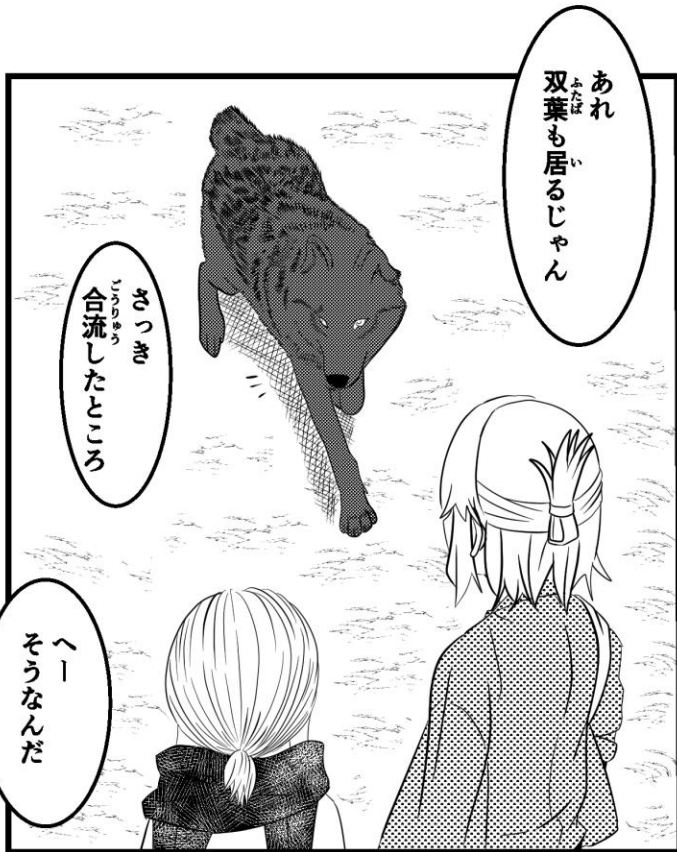
かきよう
佳境ですよ
ねが
締めをお願いします



大将っ

セ
ユ





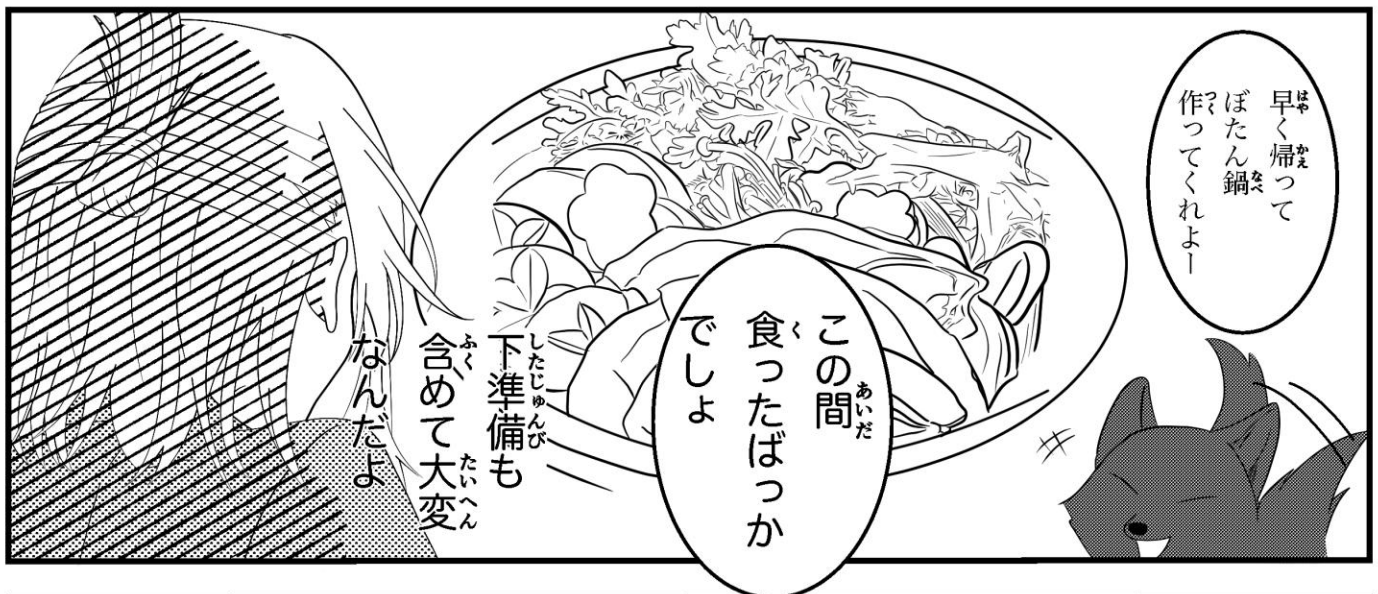
あれ
双葉も居るじゃん

さっき
合流したところ

へー
そうなんだ



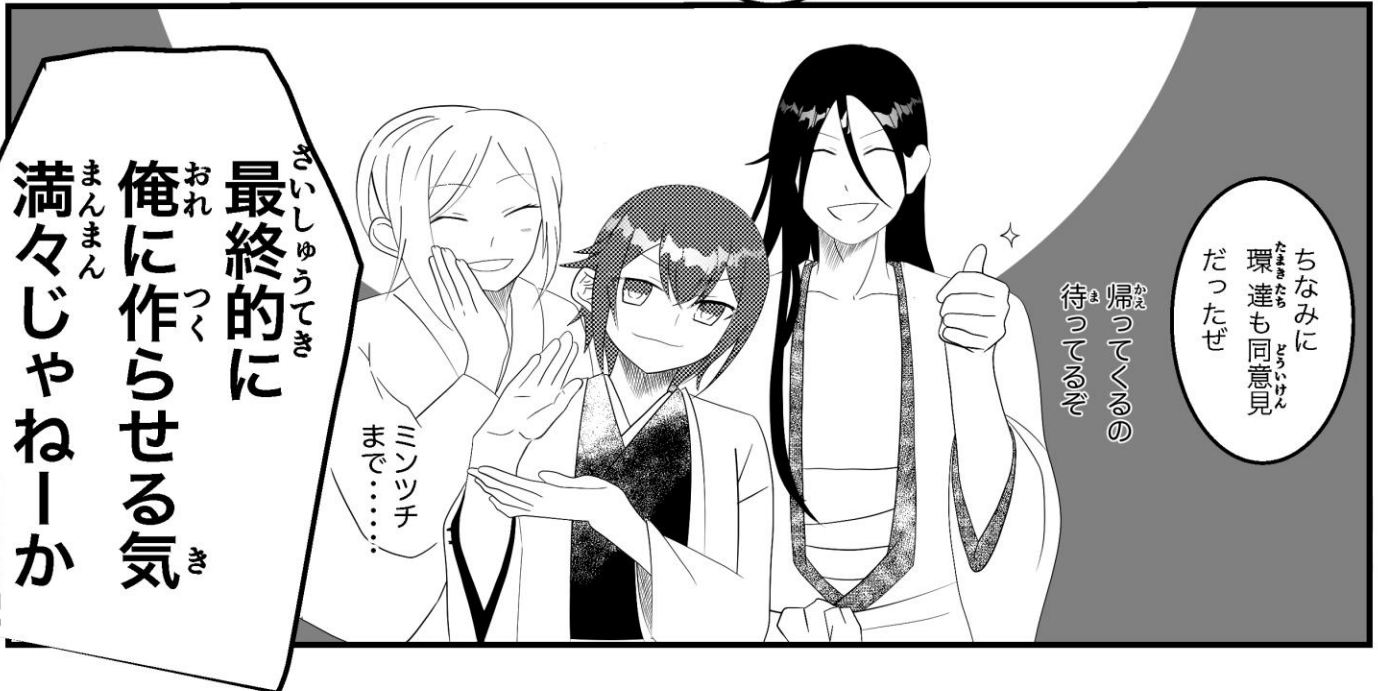
たいしょう
大将ーっ
むむ
向こうの消火
しょうか
お
終わったぜー



早く帰って
ぼたん鍋
作ってくれよー

あいだ
この間
食べたばっか
でしょ

したじゅんび
下準備も
ふく
含めて大変
なんだよ



ちなみに
たまには
環達も同意見
だったぜ

帰ってくんの
待つてるぞ

ミンツチ
まで……

さいしゅうてき
最終的に
おれ
俺につく
俺に作らせる気
まんまん
満々じゃねーか



これだけ血を流せば遠くまでは行けないし

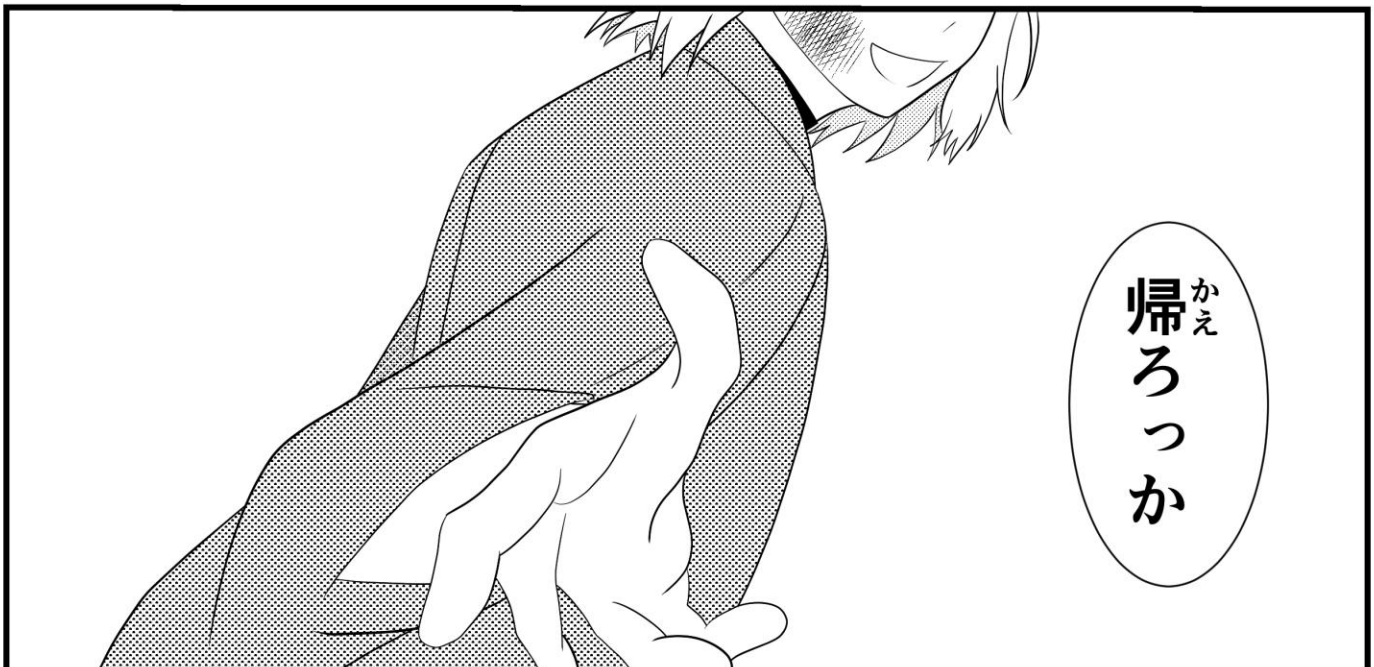
支給された力と共に長くは保たないだろうな

双葉あ



千伝ってくひるなら雪蔵のハク大盛りにしてあげるよ

くるっ
ミンゴカ

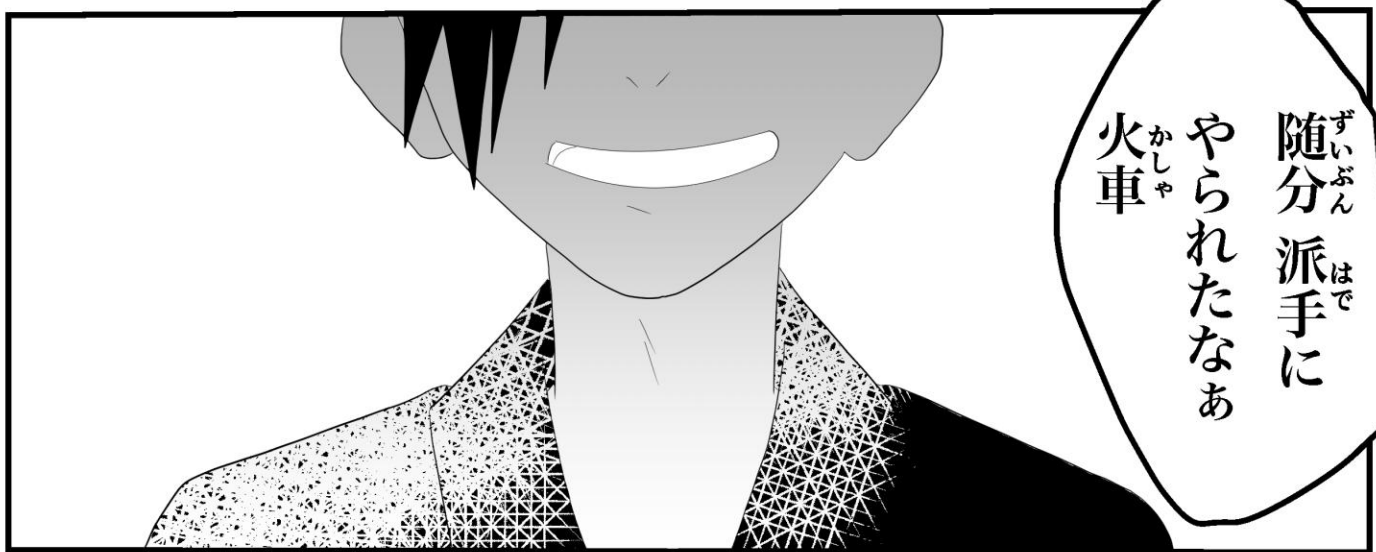
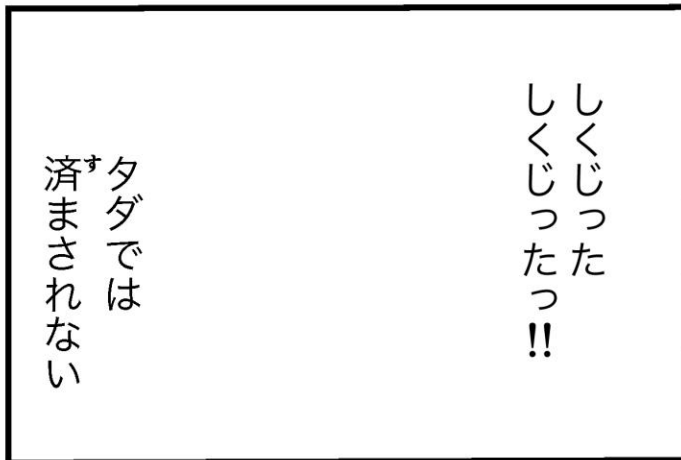


かえ
帰ろっか

はい



クソッ





まあ 一つ
朗報なのが



あの量の贄を
回収してやったのは
誰のおかげだと
思っただけやがる!

あんなに妖力を与えても
例のやつを回収すのに
どれだけ手間を
かけさせる気だよ

おまけに
本家の奴等まで
嗅ぎつけられるとは
情けねエなア

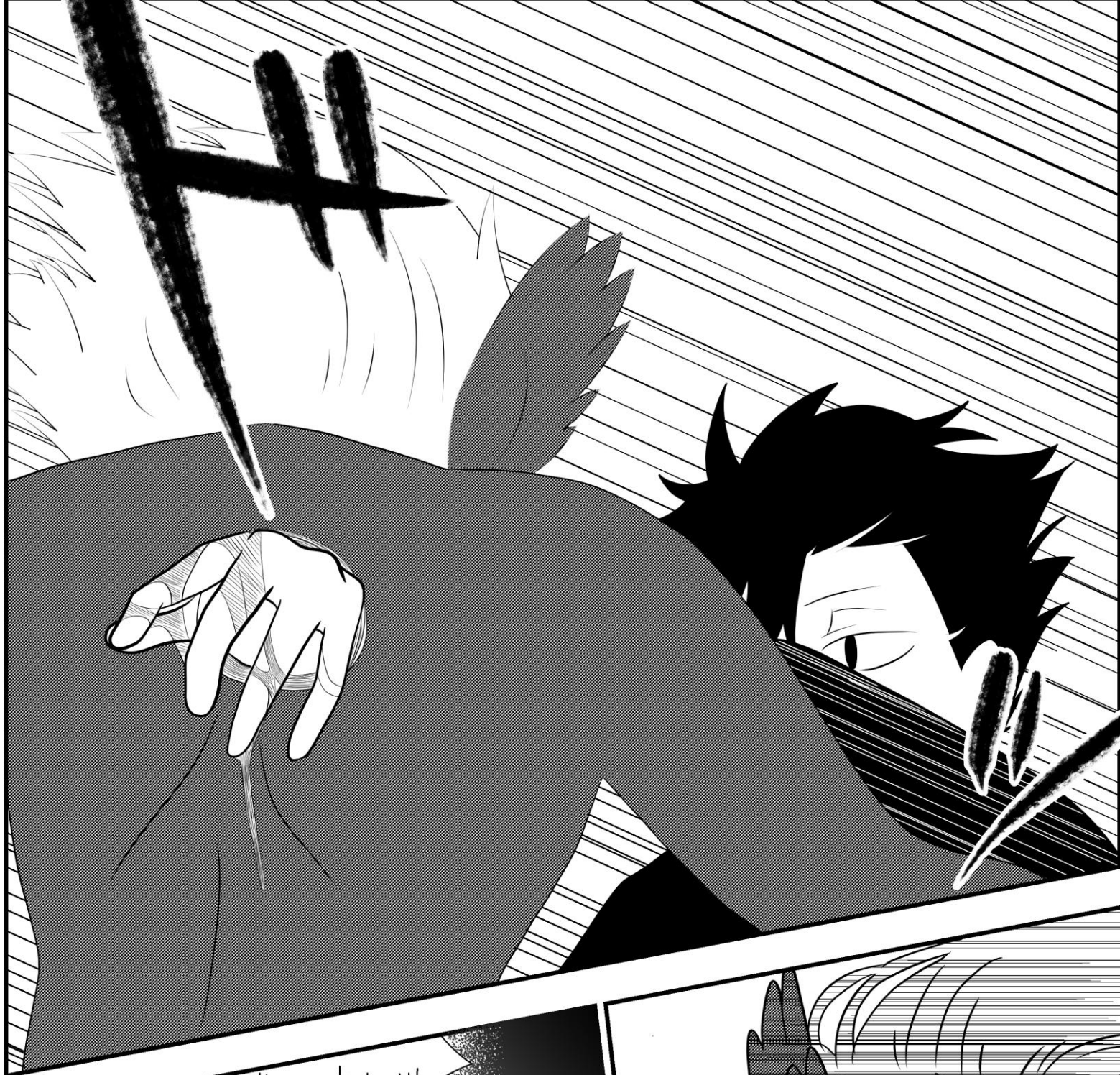


テメエ向きの
仕事がある

って言ったたら
喜んでやって
くれるよなア?



仕事って
なんだ…



ひとつ言い忘れてた



は……？

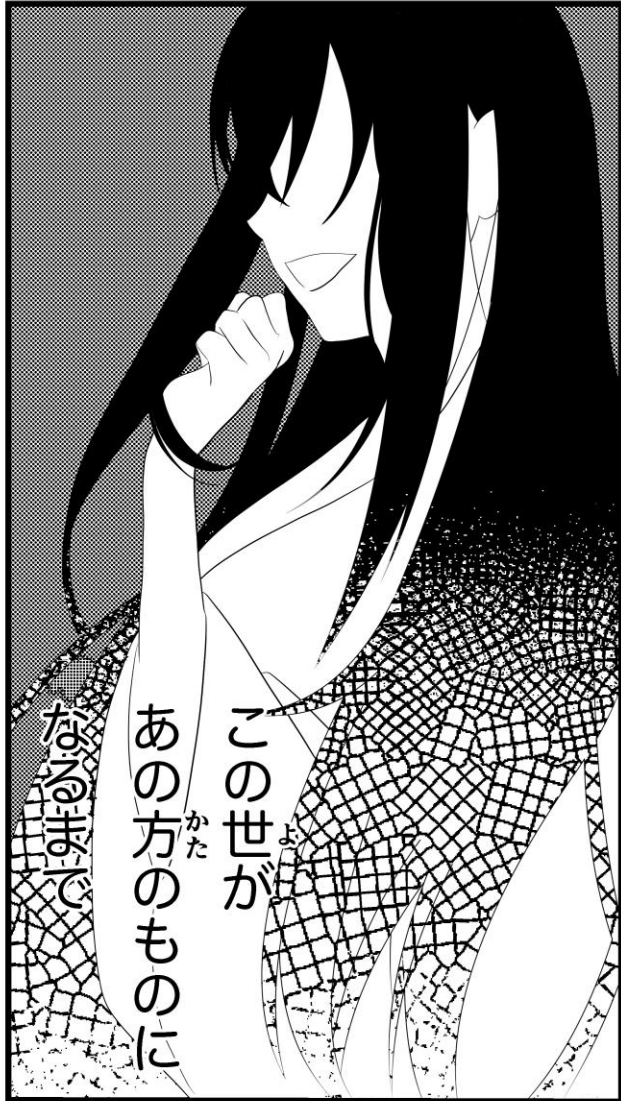
いま
まえ
今 お前さんに
あた
与えたのは
オレのとおつておきだ

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

どちらにせよ

どく
毒に耐えられる
はず
筈がないけどな

あ
あ
鳴く呼
や
矢ッ張り
こうなるか



この世が
あの方かたのものに
なるまで



本家の奴等やつらが
駆けつけて来る前に

退散たいさん 退散たいさん
……と



もう少しすこですよ